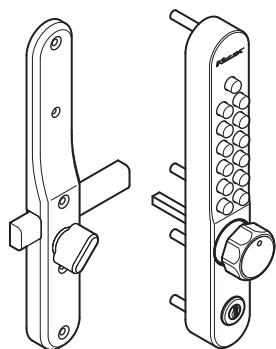


KEYLEX 800®

KL800
面付本締錠

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22804
22804M



防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

キーレックス 800 シリーズ 保証書

お買い上げ日から1年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障、又は 本証のお買い上げ日 及び 販売店名の欄に記入がない場合は、
保証期間内でも有料修理になります。

機種名： **キーレックス 800 22804, 22804M**

お買い上げ日： 年 月 日 保証期間：お買い上げ日より1年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.

検印



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代)
FAX. 03-5967-3103

福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

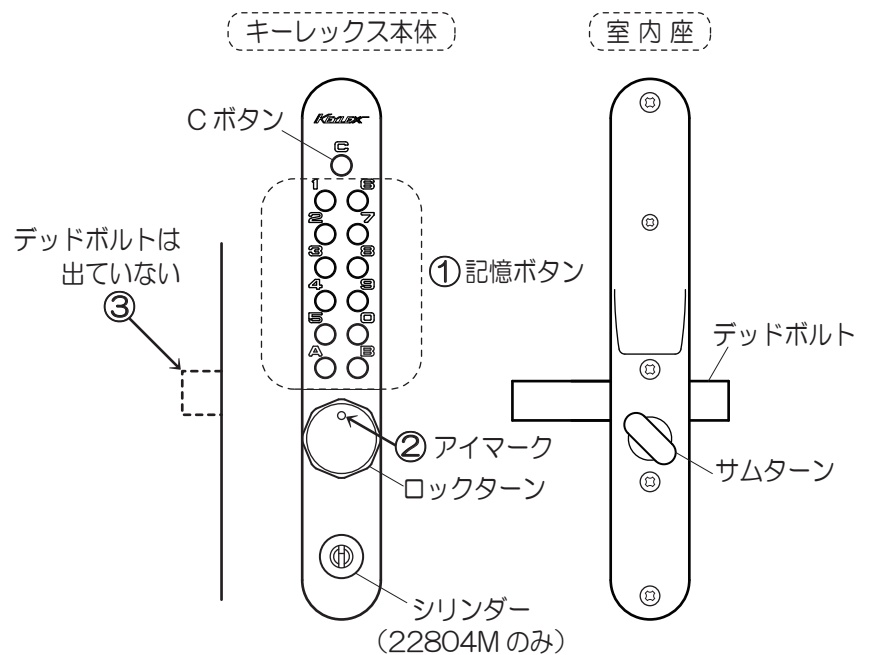
基本操作

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが真上にある
- ③ 室内座のデッドボルトが扉から出ていない

鍵付タイプの場合は、記憶ボタン操作を行わずにキー操作で開扉できます。

※ 図は右吊元仕様です
(吊元については4ページ参照)



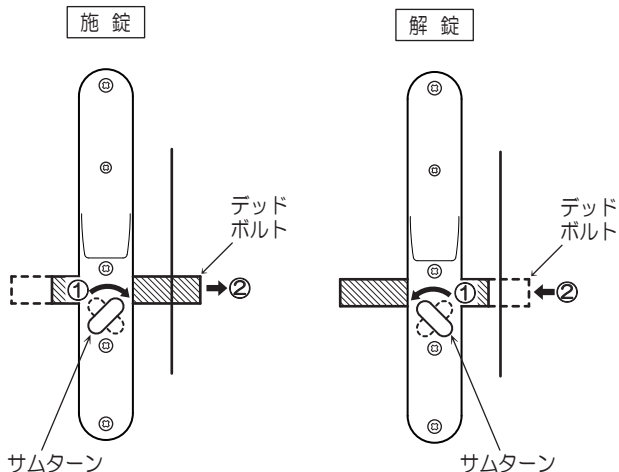
室内側

施錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが納まり、解錠されます



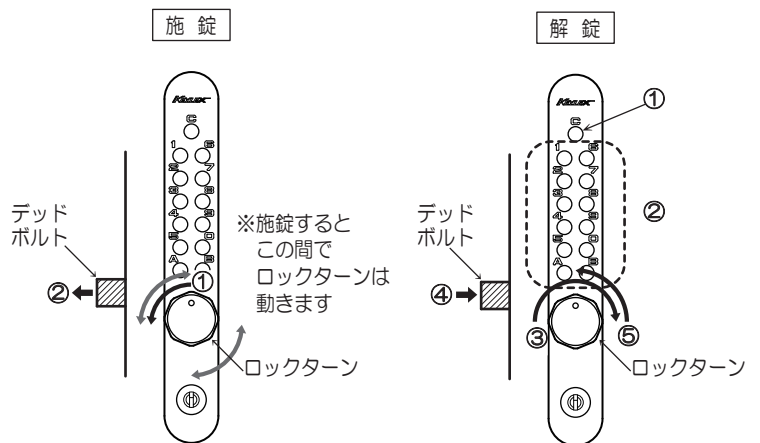
室外側

施錠

- ① ロックターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

- ① Cボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶ボタンを押します
- ③ ロックターンを回しきります (アイマーク：ヨコ位置になる)
- ④ デッドボルトが納まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを90° 元に戻します (アイマーク：ヨコ→上)

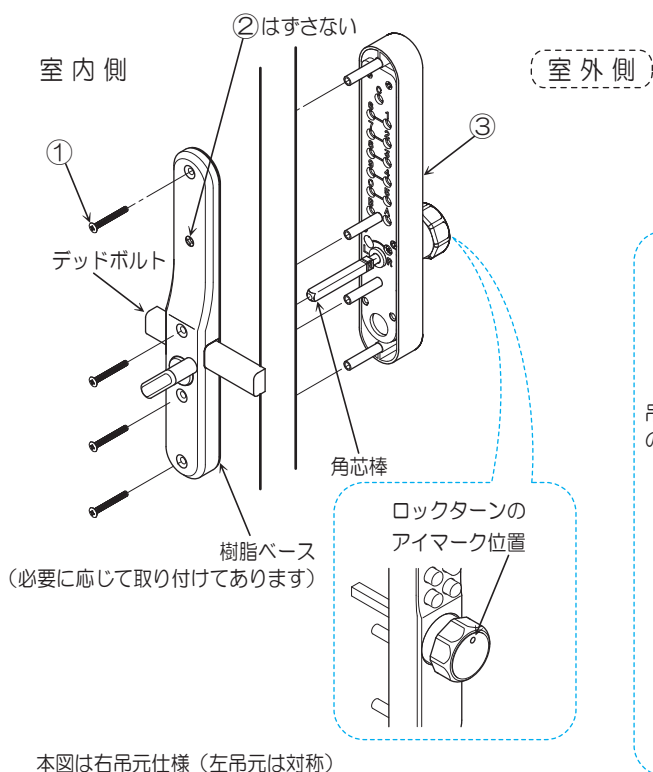


※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。



本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

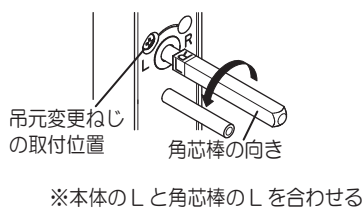
I: ①本体固定ねじ 4 本ははずします。

②室内座固定ねじは、はずさないでください。

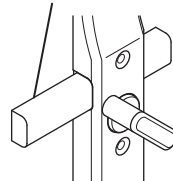
（扉に室内座を固定しています）

II: ③キーレックス本体を取りはずします。

左吊元取付時の位置



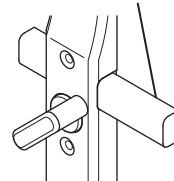
デッドボルトの向き



右吊元取付時の位置

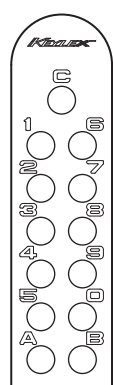


デッドボルトの向き

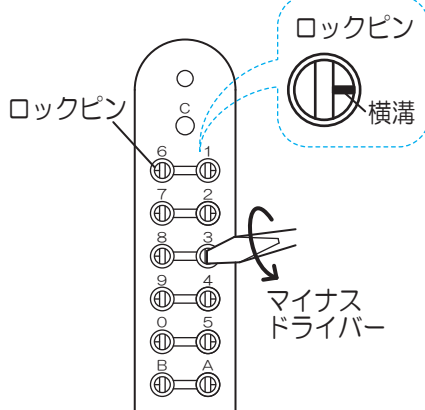


【2】記憶番号の設定変更をします

- ① 本体表側の C ボタンを押します。
- ② 本体を裏向きにし、記憶されているロックピンを回転させ（右側は左回転、左側は右回転でロックピンの横溝を外向きにする）すべてをクリアします。
- ③ 新規に記憶する番号を必ず記録します。本紙 1 ページに記入欄があります。
- ④ 新規記憶番号のロックピン横溝を中央部の横溝にあわせませす。

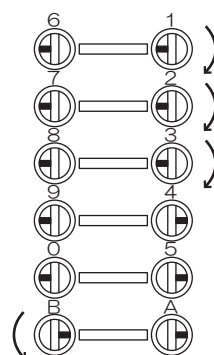


本体表側



本体裏側

例: B 1 2 3



- ⑤ C ボタン+新規記憶ボタンを押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます

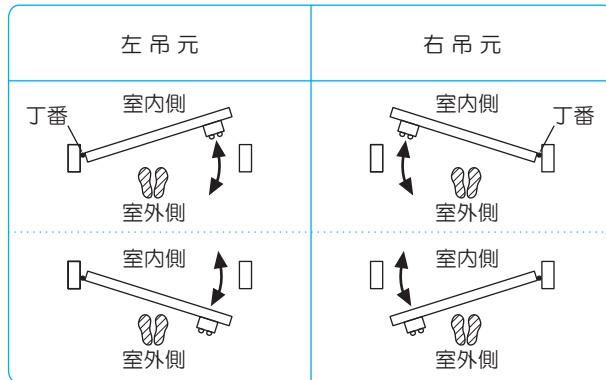
アイマーク、角芯棒、デッドボルトの向きに注意して取り付けます（上図参照）。

取り付けたら、扉を閉めずに 2 ページの基本操作で作動確認をします。

吊元と吊元変更ねじの確認

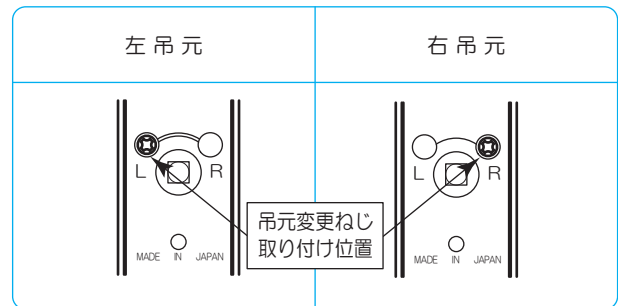
【１】下図で扉の吊元を確認します。

キーレックス本体（ボタン側）から見て
扉の丁番が右か左のどちらについているかで
判断します。



【２】①キーレックス本体裏の吊元変更ねじの位置を確認します。

吊元変更ねじの入れ替え時は、ねじをしっかりと締め付け、
ロックターンが回せるかを確認します。
ロックターンが回れば、ねじの入れ替えは完了です。
回らなければ、ねじの締め付け不足です。
奥まで締め付けてください。



記憶番号設定に関するご注意

- KL800 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- | | |
|--------------------------|--|
| ■ 取付ねじのゆるみ | ● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。 |
| ■ 受座の飛び出し | ● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。 |
| ■ 他の用途への使用 | ● ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。 |
| ◆ 操作上の注意
(故障の原因となります) | <ul style="list-style-type: none"> ● 製品の分解、改造はしないでください。 ● デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。 ● ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。 |
| ◆ 永くご使用頂くために | <ul style="list-style-type: none"> ● 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。 ● 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。 |

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。